

10月6日 5年生 算数「三角形の面積を求めよう」

5年生は、これまで社会科でやってきた情報活用能力の授業デザインを算数でもやってみるというチャレンジをしています。うまくいかか、いかないかは、やってみないとわかりません！！

5年生の このチャレンジする姿勢、本当に見習いたいです！！

学年を2チーム(単元テストも参考)に分けて

Uチーム…49人

(5年1組と2組に分かれて、先生とやる人、友だちとやる人、一人で向き合う人)

Kチーム…19人

(少人数教室で一斉指導方式)

はじめは、学習の進め方の説明をして早速スタートです！

1. 学習の流れの説明

①めあて設定

「教科書に書いてある算数の課題を読んで、自分のめあてを決めます。」

算数などの教科の課題はもちろんありますが、それをもとに自分なりの課題も設定するというステップを入れます。



②情報収集

教科書p135と136

③整理分析

Hさんの考えを自分のことばで説明する

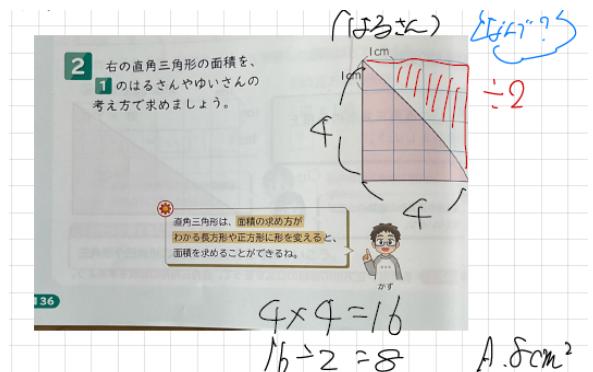
④まとめ

「長方形や正方形にかえて、求めることができる」

⑤表現

「できているか練習問題で確かめましょう。

Hさんの考え方とYさんの考え方で解決してみます。



⑥ふりかえり

「3つの項目でふりかえってください」

(1)だれと学んだか？（一人、友だち、先生と）

(2)めあてはクリアできたか？（○ △ ✕）△や✖ならやり方を変えないといけないね。

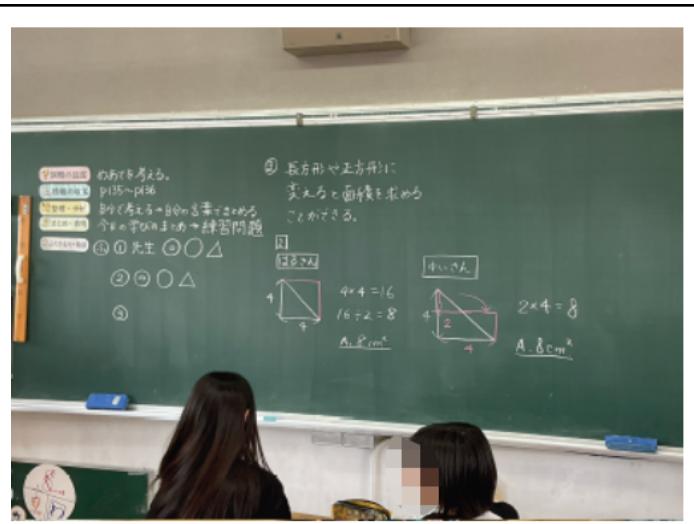
(3)文字コーナー（できたこと、分かったこと、学び方など、できれば書く）

社会でたくさんふりかえりを書いているので、算数はアナログでいこうという方針です。

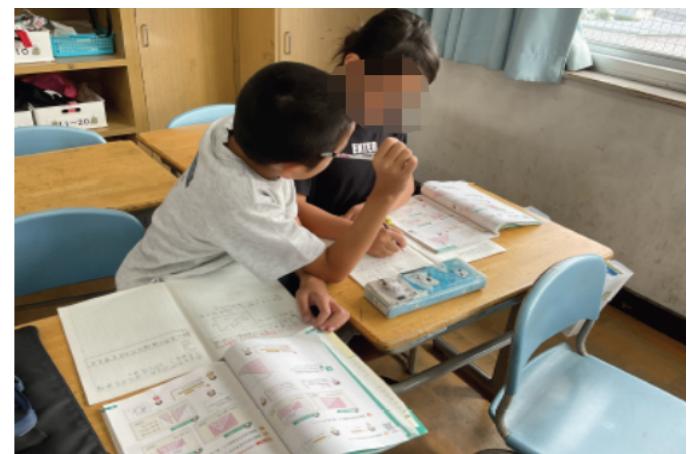
ここまでで、だいたい15分くらい。

今日は初めてなので全体での説明が多く集中して聞く時間が長かったですが、慣れてくればどの単元でもこのような授業デザインで学んでいける可能性があります。

2. 授業の様子



早速3人でスタート！



2人で相談しながらスタート！



となりでいっしょに同じ課題に取り組んでいて、分からなかつたらすぐに聞ける安心感。



自分の座席を中心に集まっているチーム。



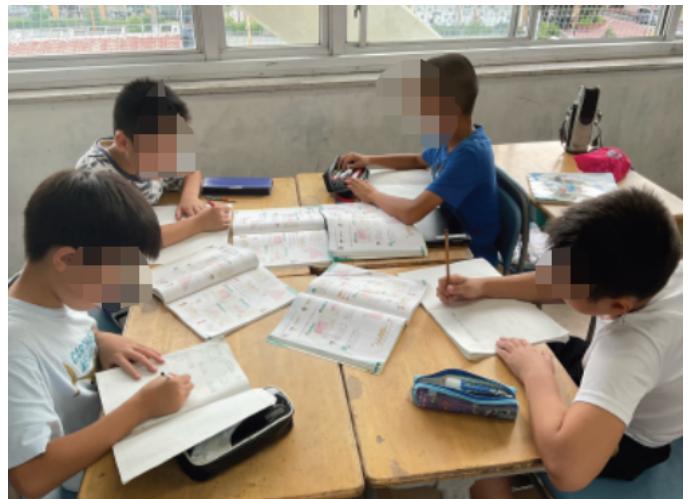
先生といっしょにやる人は、4人でした。
先生が主導で問題を解いていきます。



こちらは、向かい合わせで取り組んでいました。



仲良し4人組でしょうか。「問題読んでくれる人？」なんて、授業さながらに進めていました。



こちらも4人組で取り組んでいました。



こちらは、クロームブックで写真をとって、図形を操作しながら取り組んでいました。



もくもくと2人で進めるこちらのチーム。

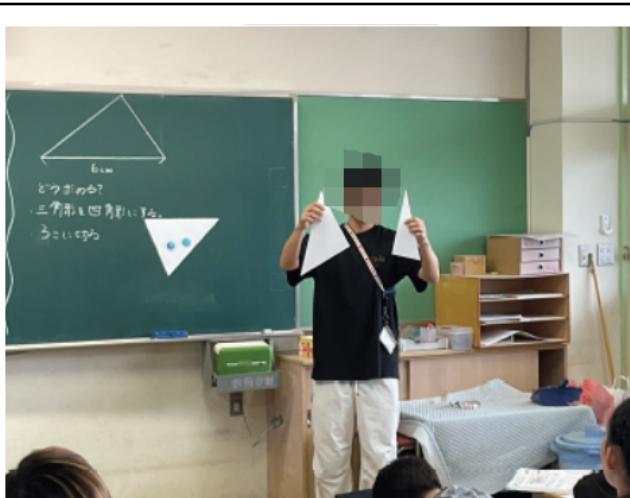


ノートに図形を書いて、文字で説明しています。

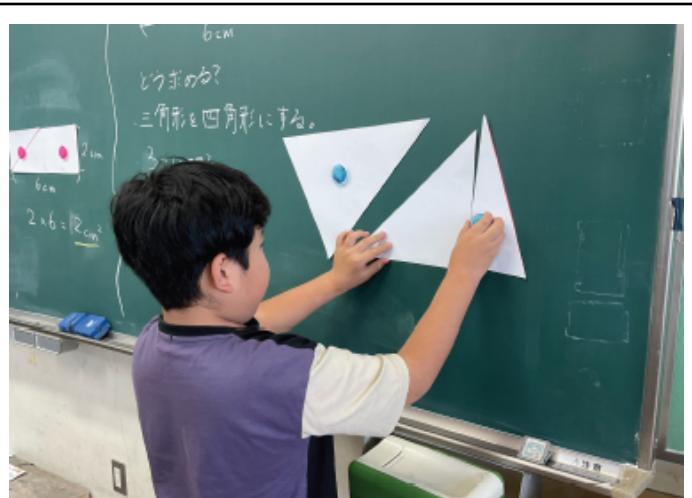


デジタルだけでなく、アナログのノートづくりもいてねいに取り組んでいます。

少人数教室では、少し人数をしづらって苦手な子が安心して学べる場づくりをされていました。



視覚的に図形を操作して理解できる工夫。



子どもが操作して説明する場面。



図形から立式する場面。



友だちの考えにつけたしする場面。少人数な分、発表機会も増えますね。

早く問題を終えた子は、友だちに説明する、教えるといった課題に取り組みます。



自分の課題を終えて、友だちと学びを確認する場面。



先生とやっていたチームですが、早く課題を終えて、自分たちで問題を出し合っていました。
もう自分たちでもできるねえ！